

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p>平成25年度 第2回 理事会 議事録</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成25年6月22日(土) 9:30~12:05
出 席 者	<p>出席者・辻森、大垣、上田、武仲、鈴木、阪本、野邊、西宮、廣岡、竹原、吉野、加納、梅本、中村、山中、松村、福森監事。 森田地域担当監。</p> <p>欠席者・河合、田合監事。</p>
<p>議事</p> <p>決議事項</p> <p>1. 議事録署名人</p> <p>2. 平成25年度桔梗が丘夏まつりの予算(案)について</p>	<p>大垣副会長が司会を務め会議が始まった。</p> <p>辻森会長の挨拶の要旨</p> <p>「暑さが厳しくなってきました。我々みんなが体力的には年々衰えを感じる年代となってきました。精神的にはまだまだ若いつもりですが、健康には十分気を付けて頂きたいと思います。</p> <p>それから、我々には協議会、自治連合会等と各種の会議がありますが、都合で欠席される場合は、出来るだけ代理の方が出席をいただき、各種の情報を共有出来るようご配慮おねがいします。」</p> <p>引き続き、辻森会長が議長を務め会議が始まった。</p> <p>本会議の議事録署名人に加納康嗣氏、西宮剛志氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>廣岡住民交流部会長から、平成25年度桔梗が丘夏まつりの予算(案)について、別添え資料に基き概ね次の様に説明・提案があった。</p> <p>「昨年度の決算を基に作成をいたしました。収入は1,900,000円で協賛金及び繰出金を充当します。支出は昨年度の決算額を基に計上をしています。その中で縁日費のみ模擬店利用券の増加を見込んで増額をしています。引き換え件数は約1500件を見込んでいます。本年度は、イベント費の礼金の支出を抑え、飲み物・弁当等現物に変更する予定です。又参加した子どもたちに“光る輪”をプレゼントしたいと考えています。これは縁日費から支出します」と述べた。</p> <p>議長は、引き続き出席者に意見を求めた。</p> <p>&lt;出席者意見&gt;</p>

<p>報告事項</p> <p>1. 平成25年度プロジェクト事業「ふれあい茶房」及び「子どもたちと地域の絆づくり事業」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出の内容・項目は提案どおりで問題ないとする。</li> <li>・定時総会で承認されている予算に合わせて各項目の支出額を微調整してはどうか。そして予算総額を1,750,000円とする提案がされた。</li> </ul> <p>以上の提案について採決をしたところ修正案どおり、全員異議無く承認された。</p> <p>辻森会長から、協賛金の集金依頼を先日の自治連合会に於いて、各自治会長・区長にした旨報告があった。</p> <p>阪本企画運営委員長から、「本年度2つのプロジェクト事業がスタートしますが、先ず、ふれあい茶房事業について川中リーダーから報告をしていただきます」と述べた。</p> <p>＜ふれあい茶房事業＞</p> <p>川中ふれあい茶房プロジェクトリーダーから、「ふれあい茶房」事業の進捗状況について、別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。</p> <p>「リーダーの川中です。これまでの事業の進捗状況を報告します。名称は桔梗が丘コミュニティカフェ（仮称）で、正式名称は改めて住民の皆さんから募集をします。設置場所は公民館のロビー（入り口左側）です。地域住民の皆さんが気軽に出掛けて、ふれあい・交流を図り、「ほっと一息」くつろいでもらえる居場所を提供することが目的です。運営はコミュニティカフェ管理運営委員会を設置して実行組織に切り替えます。開設は10月2日（水）を予定しています。営業は毎週火曜から土曜まで午前10時～午後4時まで。サービス内容等は記載の通りですが、利用料金は1回100円です。提供品はコーヒー、紅茶、ジュース等です。その他、イベント開催、情報誌発行を予定しています。運営スタッフは有償ボランティアとして7月に募集をします。</p> <p>今後の予定は、来月、7月の回覧で名称募集、備品・什器の購入を始め、9月にプレオープン、10月2日スタートとなっています。</p> <p>＜設備の運営内容の詳細を報告・資料参照＞</p> <p>会計は特別会計とし、収入は名張市ゆめづくり協働事業交付金100万円と売上金等756千円で合計1,756千円。支出は初期の設備投資費用が100万円、管理運営コストは売上金756千円で賄う予定です。</p> <p>管理運営全般については「桔梗が丘コミュニティカフェ管理運営委員会規定（案）」を策定し運営することにしたいと思っています。現在最も大きな課題はサービススタッフの確保（募集は20人）です。皆さんもご協力下さい」と述べた。</p>
---	---

引き続き、議長は出席者に意見を求めた。

福森監事：会計監査、事業監査についての規定が必要ではないか。

金谷委員：規定第7条、第9条で援用出来ると考えているが、今後更に検討、協議していくことにしたい。この規定策定の問題は7つの新規プロジェクト事業全般に関わってくると思う。今後、協議会の組織にどのように位置付けるのか、更に理事会を含めて検討をしていただきたい。

大垣副会長：総務委員会が中心になって素案作りを進めねばならないと考えています。私案としては、「ふれあい茶房事業」は組織に組み込む、「子どもたちと地域の絆づくり事業」については協働事業となるのではないかと考えています。詳細は総務委員会で検討を進めていきます。

阪本理事：企画運営委員会としても、“ほっとまち” 桔梗が丘の7つの新規プロジェクト事業の協議会内での位置付けを検討していきます。

野邊理事：コミュニティカフェ管理運営規定ですが、自主的な運営のための規定と捉えて良いか

金谷委員：7つの新規プロジェクト事業の一つと捉え、現在の事業部会とは分けて捉える方向で規定案の策定にあたりました。協議会での位置付けは規約改正にも及びと思うので、総務委員会を中心に企画運営委員会と共に検討をしていただく必要があると思っています。

野邊理事：協議会の傘下にあることを意識しながらの規則であると良く理解が出来る。協議会との関係をどのように捉えておられるのかお聞きした。

金谷委員：ふれあい茶房事業の中心は公民館での事業と桔梗が丘商店街で“ふれあいの場”を作ることの2つ。後者の事業を考えたときには、独立性の高い組織が必要になると考えています。今回は公民館の一角を使用する事業であることからこの規定案になった。従って組織もそのようにならざるを得ないと考えている。

吉野理事：新規プロジェクト事業の組織は協議会に何らかの形で絡むことになると思う。この事業が赤字になった場合は何処から補填するのか。

金谷委員：本年度に限るといろいろ工夫し、収支トントンになることを想定している。

中川委員から、事業の開始に伴う備品購入費について、引き続き、開設後の運営経費の問題について詳細に亘って説明があり、初年度は赤字にならないと考えている旨、報告があった。

辻森会長：ふれあい茶房事業は、大変熱心に議論、検討を重ねていただきここまで来ました。ご努力に感謝します。ここでは先ずスタートすることが大切と考えますので、残された課題は今後検討していくことにしたいと思います。

<p>2. 地域経営室との意見交換会について</p>	<p>大垣副会長：ふれあい茶房の運営スタッフの募集は、7月の回覧を行い、人員が不足のときは再度各戸配布をしたいと思っています。</p> <p>新規プロジェクト事業は今後、各事業の具体的な内容及び規約等について自治連合会、理事会に諮りながらの進めていくことになると思いますのでご了承下さい。</p> <p>&lt;子どもたちと地域の絆づくり事業&gt;</p> <p>辻森会長から子どもたちと地域の絆づくり事業について次のような報告があった。</p> <p>「この事業は第3回目の会合を6月1日開催し、地域内の3小学校校区に運営委員会を設け、この3委員会を繋ぐ連絡協議会を設けることになりました。連絡協議会の構成は自治連合協議会役員、各校校長、PTA役員、地域福祉部会員、企画運営委員会、広報委員会とし、この連絡協議会を通じて協働事業の検討等を行なうことにしました。本年度は“通学路花いっぱい運動”を名張市ゆめづくり協働事業として取り上げることに決定しました、お手許に事業サポーター募集案と、事業の実施スケジュールを配布してあります。</p> <p>運営にあたっては、3校区の運営委員会会則及び連絡協議会会則を制定します。各会則の案を配布してありますので、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>平成26年度以降の事業計画は連絡協議会で検討を進め、今後、適時計画の進捗をお知らせしますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします」と述べた。</p> <p>追加の希望事項として4理事（ブロック長）に対し、辻森会長から、「各小学校、中学校からそれぞれの地区に回覧される内容について、チェックをいただき、情報を提供していただきたい」と述べた。</p> <p>大垣副会長から「既に3小学校区にある自主的な活動を生かしながら、一方で連携した活動が必要と考えこのような組織になりました。立ち上げは9月から10月にかけて行い、11月に花いっぱい運動を桔梗が丘地域で一斉に実施する予定になっています」と述べた。</p> <p>野邊理事から、新規のプロジェクト事業の協議会における位置付けを、総務委員会で検討し、早く、きっちりと決めることが重要であると思う旨の発言があった。</p> <p>大垣総務委員長から、「有難うございます。早急に検討をします」と述べた</p> <p>辻森会長から、「先週の自治連合会で名張市地域経営室との意見交換会を持ちました。目的は行政と地域が持っている課題を共有し、相互の理解を深め、協働・連携を進めるためには、こういった会合を開くことが必要不可欠と思</p>
----------------------------	---

<p>3. 新高等学校設置場所に関しての公文書開示資料検証及び今後の対策について</p>	<p>ったからです。当日は奥村地域部長、森田地域担当監が出席しました。</p> <p>当方からは資料に記載したとおり3項目の意見を出しました。そこで、もっとも大切なことは、行政側はもっと地域に入って意見を汲み取り、意見交換をする事と申し上げた。</p> <p>市側からは、今後もこういった意見交換の場を持つこと、本日回答出来なかったものは持ち帰って返答をすることの発言があり、これを了承した」と述べた。</p> <p>辻森会長から、「高校統合に関する公文書開示請求に伴う公開文書が三教委から届きました。協議会の役員他、主だったメンバーで検証をしました。その中身は余り意味のあるものは無く、新しい発見はありませんでした。特に地元に対する配慮や議論が無かったので、6月20日、再度三重県教育長及び三重県知事に質問状を提出しました。質問内容は次の4項目です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 桔梗丘高校地、西高地、それぞれに新高校を設置した際のイニシャルコスト、ランニングコストの対比。</li> <li>2. 西高跡地に設置した場合、生徒の通学費が月額1万5千円の増となるが、県民の負担が増えることはやむを得ないと考えているのか。</li> <li>3. 西高跡地に設置した場合、生徒の通学時間増のために、3年間の時間的ロスが大きく、学習、クラブ活動の時間が制約される。この問題の検証データが無く、議論が真摯になされていない。</li> <li>4. 新高校設置について、3月14日の教育委員会定例会の議事録を検証の結果、今回の決定につき議案提案は無く、議論が十分に尽くされていない。</li> <li>5. 桔梗が丘であれ、百合が丘であれ、具体的な跡地利用の計画が全く示されていない。県教委は知事部局と協議し計画を示されたい。</li> </ol> <p>以上の回答を7月10日までに文書で出してもらうように要請しました。</p> <p>尚、名張市市議会（7月25日伊賀市議会合同の広域説明会がある）の姿勢についても確認し、今後の対応を決めたいと考えています」と述べた。</p> <p>大垣副会長から、「先日の自治連合会で一部の方から、これまで十分に活動いただいたと思うので、今後は跡地利用に絞って運動するのも良いのではないかとの意見がありましたので、この点も含め検討します」と述べた。</p>		
<p>4. 平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告について</p>	<p>松村事務局次長から、平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告(平成25年5月末)について、別添え資料に基づき概ね次の様に報告があった。</p> <p>&lt;協議会会計&gt;</p> <p>収入の部（5月の主な科目のみ）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">交付金</td> <td style="text-align: right;">14,974,000円（ゆめづくり交付金）</td> </tr> </table>	交付金	14,974,000円（ゆめづくり交付金）
交付金	14,974,000円（ゆめづくり交付金）		

5. 地域代表者会議の報告	負担金（人件費） 2, 700, 000円（公民館会計から）
	収入合計 17, 674, 000円
	支出の部（5月の主な科目のみ）
	人件費 758, 000円（職員・館長報酬等）
	総務費（会議費） 247, 247円（総会資料）
	総務費（防災費） 200, 000円（消防団・桔梗が丘）
	健康推進費 7, 560円（ハイキング下見）
	教育文化費 66, 000円（桔” ずセミナー他）
	生活安全費 90, 000円（防災ベスト）
	快適環境費 265, 628円（ゴーヤ配布、クリーン 作戦）
	地域福祉費 210, 200円（高齢者のつどい他）
	支出合計 1, 865, 085円
	<公民館会計>
	収入の部（5月の主な科目のみ）
	使用料 182, 408円
	収入合計 182, 408円
	支出の部（5月の主な科目のみ）
	管理費（消耗品費） 29, 800円
	”（光熱水費） 254, 530円
	”（修繕費） 84, 000円（玄関タイル）
	”（委託・手数料） 387, 824円（特殊建物点検他）
	”（使用料等） 70, 891円（リース料等）
	運営費（報償費） 60, 000円（講師料）
	”（事業費） 30, 000円（連続講座講師料）
	負担金（人件費） 2, 700, 000円（公民館職員）
支出合計 3, 643, 517円	
以上の通り報告があった。	
辻森会長から、6月6日に開催された地域代表者会議の報告があり「会議の議事概要を配布していますのでご一読下さい。要点のみご報告します」と述べた。	
<報告の要旨>	
① 平成25年度の役員選出についての経過報告がありました。	
② 健康支援室から地区担当保健師の紹介があり、桔梗が丘は大西さんで	

	<p>す。担当の業務は資料参照してください。</p> <p>③ 7月21日投開票予定の参議院選挙の立会人推薦依頼があり、自治連合会で依頼をしました。</p> <p>④ 住宅・土地統計調査が今秋行われるので、調査委員の推薦依頼がありました。</p> <p>⑤ 平成25年度名張市総合防災訓練について危機管理室から説明がありました。9月22日(日)、平成25年度名張市総合防災訓練が行なわれます。本日はその概要を配布してあります。桔梗が丘地区としてどのように取り組むか、協議会吉野生活安全部会長、4人のブロック長さん、8番町橋本区長、役員で具体策について6月24日(月)に危機管理室を交え検討します。現在のところ、地区の一時避難所に集合した後、地域の避難所へ移動し、そこで地域の避難所の立ち上げの設置訓練まで行ないたいと考えています。詳細が決定後、ご報告しますのでご協力方よろしくお願いします。</p> <p>⑥ 健康福祉政策室から、民生児童委員及び主任児童委員の推薦依頼があり、各自治会長・区長にお願いしました。</p> <p>⑦ 「名張ゆめづくり協働塾」の開設が予定されています。詳細は資料を見てください。</p> <p>⑧ お手許に名張市地域部の組織図を配布していますので、参考にして下さい。</p>
<p>6. 桔梗が丘公民館のホームページのフェースブック移行と自治連合協議会のホームページ管理について</p>	<p>山中事務局長から、「今般、名張市地域経営室では、現在、各地域において地域づくり組織と公民館がそれぞれホームページを立ち上げ運用しているが、これをフェースブックに一元化するとの方針が打ち出されました。一元化にあたっては、現在、市が提供したソフトとは違った地域独自のものを用いている地域は現状のままとするとの事です。当地域は公民館、連合協議会共独自のソフトを使用していますが、野邊広報委員長と検討の結果、公民館はフェースブックへ、自治連合協議会は現行のままとすることになりました。</p> <p>公民館のフェースブックは7月1日から運用の予定で準備を進めています。したがって現在の公民館のホームページは凍結いたします。具体的内容は名張公民館のものが試行で公開されていますのでご覧下さい」と述べた。</p>
<p>7. 委員会・部会報告</p>	<p>&lt;総務委員会&gt;</p> <p>大垣副会長(総務委員長)から、委員会活動報告について概ね次の様に報告があった。</p> <p>「定例委員会において、本年度の今後の活動計画について、9月に講演会</p>

(農楽園・農業に関する演題)、11月に視察・研修(行き先は検討中)、来年3月に公民館との協働事業としての講演会を開催する予定で、検討を進めています」と述べた。

#### <企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、委員会活動報告について概ね次の様に報告があった。

「地域ビジョン新規プロジェクト事業の来年度分の実施に向けて、今年度の推移を参考に早目に検討を始めます。来年度に実施を予定している事業は、「ききょう農楽園」開設事業と、「地域環境ねっと」構築事業ですが、既に6月にメンバー募集の回覧をいたしました。すでに、「地域環境ねっと」は生活安全部会(7人)の方を中心に、「ききょう農楽園」は“農を楽しむ”の一部のメンバー5人の方が集り情報の収集を始め、具体的な内容の検討を始めています。メンバー募集終了後、正式にスタートさせたいと考えています。

#### <広報委員会>

野邊広報委員長から、委員会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「ききょう通信の57号の発行を9月に予定しています。掲載内容は検討中ですが、第1面では「リレー:まちへの思い」や「桔梗が丘地区の夏まつり」を取り上げ、地域内各自治会・区のまつりの様子も掲載したいと思っています。ホームページの更新をいたしましたので、アクセスしてください。

先程、公民館サイドの方から報告のあった、名張市側からのホームページの一元化の問題ですが、協議会側のホームページの管理について、広報委員会としては今回参加をしないということにいたしました。理事会での了承が後になり恐縮ですがよろしく願いいたします。その理由はいくつかありますが、更新ソフトが新しくなって2~3年しか経過していないこと(せっかく自前で更新が早く出来るようになった)。市側のものは同一性に偏っており、これを採用すると、地域の独自性が失われるような思いがあります。ご了承いただきたいと思います。

最後にホームページ上のメールの管理ですが、ホームページ上にあるアドレスの内、[info@kikyogaoka.jp](mailto:info@kikyogaoka.jp)は事務局が管理、[koho@kikyogaoka.jp](mailto:koho@kikyogaoka.jp)は広報委員会が管理をすることにいたしますのでご了承下さい。このメールの活用によって懸案の双方向コミュニケーションへの活動に繋がりたいと思っています」と述べた。

<健康推進部会>

西宮健康推進部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「6月2日に健康ウォーキングを奈良県桜井市の山の辺道で実施しました。心配された天気も何とか持ちこたえ、総勢44人の参加がありました。特にトラブルや事故も無く無事終了しました。参加者には完歩認定書と記念写真を送りました。又次回の参考のためにアンゲートも実施しました。

健康講座のベルフラワー教室は前期分4回の内3回が実施済で6月24日に4回目を実施します。健康リズム体操は7月27日に実施予定で、6月、7月の回覧で募集します。最後に今年の敬老に日の行事の準備を進めています」と述べた。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「昨夜、第2回の部会を開催して、夏まつりの実施内容について再確認をしました。イベントの出演は桔梗丘高校吹奏楽部、早起き体操会、伊賀琉真太鼓は交渉中ですが、その他の団体はOKです。

企画書を再検討し、ゴミ対策で「模擬店設置者による設備や材料の持ち帰り」文を削除。(ゴミはパッカー車で収集する)次に、模擬店利用券の引き換え開始時間を「16:30」からにすることに変更しました。

今後の準備日程は、第3回の部会を7月24日に、模擬店とフリーマーケットの出店者会議を7月27日に開催する予定です」と述べた。

辻森会長から、夏まつり当日に商店街の空き店舗を借用できるところを確認するよう要請があった。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「5月23日、地域内の小・中学校を訪問し、小学校には桔”ずセミナーとこころの思い発表会について、中学校にはこころの思い発表会についての説明と協力依頼をしました。

6月20日に定例会を開催し、桔”ずセミナーの開催要領を再確認しました。詳細は資料に記載してあります。今年も部会として、夏まつりに模擬店を出店します。私の一冊文庫が7月19日～25日まで「本と遊ぼう」を公民館ギャラリーで開催します」と述べた。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「先程、企画運営委員会から報告のあった、次年度の新規プロジェクト事業地域環境ネットに当部会員7人がメンバー登録をしました。このメンバーでは主に街区表示設置に関わって行きたいと思っています。具体的にすべき事項を確認して作業を開始することにしています。

防犯パトロールは3回実施しました。6月5日、15日、20日です。いずれの回も異常は見られませんでした。以上が部会活動報告です」と述べた。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「6月2日に名張市クリーン大作戦に協賛して「桔梗が丘クリーン大作戦」を実施しました。公民館からは約50人の参加でした。その他に協賛の自治会・区からの参加が合計220人ありました。その後6月7日、16日にも自治会・区等でクリーン作戦を行なっていただき多くの住民の皆さんの協力を頂きました。

今年度のホタル観賞会（6月15日）は雨がタイミングよく上がり、参加者60人で賑わいました。今年はホタルの数は少なかったとの印象です。

近隣公園の整備は鳴滝公園に手すりを設置、園内の草刈を委託業者の手で行っています。皆さんも一度散策をして下さい。西桔梗が丘の野鳥公園はボランティア団体「緑の会」と「グリーンボランティア森づくり三重」のメンバーが主体となって枯れ松の伐採、植え込みの剪定、周辺部の草刈作業を行いました。今後はこういった作業・活動を新規プロジェクト事業地域環境ネットでも手掛けていただきたいと思います」と述べた。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、部会活動報告について別添え資料に基き概ね次の様に報告があった。

「恒例の高齢者のつどいを5月25日、公民館講堂で開催しました。高齢者の参加者は156人でした。各自治会長・区長さんの協力をいただき無事終了しました。会計報告は、収入312,000円に対し、支出計が316,944円になり、差額4,944円は民児協から充当しました。詳細は資料をご覧ください。本年度は156人の参加でしたが、今後更に増えることが予

<p>その他</p>	<p>想されます。そうなると開催場所自体が手狭になることもあり、今後に課題を持っています。</p> <p>本年度の協働事業である「赤ちゃんちびっ子広場」へ50,000円、2つの地域高齢者への配食と見守り事業（友～友、いこい）へ30,000円ずつ計60,000円を支出しました」と述べた。</p> <p>&lt;辻森会長からの報告&gt;</p> <p>「地域の環境整備として、駅前交番横の横断歩道に防犯（照明）灯設置してもらいます。駅前交番と近鉄プラザの間に柵を設けてもらう。線路側通路を広くしてもらう、以上の3点を協議会名で要望しました。又交番横の公園の整備も要望しています」と述べた。</p> <p>以上で会議は終了した。</p> <p>次回理事会は、平成25年7月27日（土）</p> <p>時 間 午前9時30分</p> <p>場 所 桔梗が丘公民館 202号室</p> <p>議 長 <u>辻森保蔵</u> </p> <p>議事録署名人 <u>加納康嗣</u> </p> <p>議事録署名人 <u>西宮剛志</u> </p>			
	副会長	副会長	総務委員長	書記
				